

## 平成21年3月期 決算短信

平成21年5月15日  
上場取引所 JQ

上場会社名 サン電子株式会社  
 コード番号 6736 URL <http://www.sun-denshi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員  
 定時株主総会開催予定日 平成21年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 平成21年6月25日

(氏名) 吉田 喜春  
 (氏名) 加藤 俊朗  
 配当支払開始予定日

TEL 0587-55-2201  
 平成21年6月25日

(百万円未満切捨て)

### 1. 21年3月期の連結業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	13,713	15.5	1,074	84.0	1,081	78.7	507	11.2
20年3月期	11,874	6.7	584	△17.6	605	△21.0	456	△11.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
21年3月期	48.12	42.48	5.4	7.4	7.8
20年3月期	42.47	42.40	4.9	4.4	4.9

(参考) 持分法投資損益 21年3月期 一百万円 20年3月期 △38百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期	14,528	9,585	65.4	900.62
20年3月期	14,627	9,187	62.8	870.61

(参考) 自己資本 21年3月期 9,503百万円 20年3月期 9,186百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期	2,856	△18	△695	3,629
20年3月期	△243	△3,185	785	1,614

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当 率(連結) %
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00	158	35.3	1.7
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00	158	31.2	1.7
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00		23.9	

### 3. 22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	5,500	△18.4	120	△78.6	120	△79.9	30	△92.7	2.84
通期	13,500	△1.6	1,000	△7.0	1,000	△7.6	680	33.9	64.44

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社 (社名 Cellebrite GmbH. 躍陽信息技术(上海)有限公司 ) 除外 1社 (社名 株式会社サンコミュニケーションズ )

(注)詳細は、6ページ「企業集団の状況」をご覧ください。

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、17ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期 10,840,400株 20年3月期 10,840,400株

② 期末自己株式数 21年3月期 288,100株 20年3月期 288,100株

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、26ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

#### (参考)個別業績の概要

1. 21年3月期の個別業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	10,147	14.8	697	152.7	715	101.6	551	36.5
20年3月期	8,841	△6.0	276	△47.4	354	△44.6	403	54.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期	52.23	—
20年3月期	37.55	37.48

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期	11,487		8,257		71.9		782.49	
20年3月期	11,527		7,854		68.1		744.28	

(参考) 自己資本 21年3月期 8,257百万円 20年3月期 7,853百万円

2. 22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	3,800	△25.9	△150	—	△130	—	△120	—	△11.37
通期	9,600	△5.4	450	△35.5	500	△30.1	300	△45.6	28.42

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。

今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱を受け、急激な株価下落や円高が進み景気が急速に悪化しました。特に外需依存度の高い主要企業が、市場の急変に対応するため設備投資の削減や雇用調整を行ったことから、この影響が全国に波及し、個人消費までも減退するなど厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか当社は、高付加価値ビジネスを展開すべく新製品・新規事業の企画・研究を推進するとともに、原価低減と経費節減に努めました。また、情報・通信関連事業の強化及びグローバル市場へのビジネス展開を図り、平成20年12月中国上海市に、躍陽信息技术(上海)有限公司を設立しました。

売上高につきましては、基幹事業のパチンコ関連事業において、パチンコホール内情報化システムの販売が厳しい状況で推移しましたものの、パチンコ制御基板が市場に受け入れられ順調に推移しました。また、情報・通信関連事業において、コンテンツ配信サービスが着実に増加しました。

利益につきましては、新規事業・新製品・新サービスに対する研究開発を推進しつつ、コスト削減に努めました結果、営業利益・経常利益は増加しました。また、金融商品価格の下落により、投資有価証券の評価損346百万円を計上しましたものの、当期純利益は増加しました。

この結果、当期の業績は、売上高は137億13百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は10億74百万円(同84.0%増)、経常利益10億81百万円(同78.7%増)、当期純利益は5億7百万円(同11.2%増)となりました。

事業のセグメント別業績は、次のとおりであります。

#### [パチンコ関連事業]

主要な製品は、パチンコ制御基板及びパチンコホール内情報化システムであります。

パチンコ制御基板につきましては、エンターテインメント性にあふれる遊技機が市場に受け入れられたことにより順調に推移しました。パチンコホール内情報化システムにつきましては、金融環境の悪化に伴う設備投資の減少と、更なる価格競争の激化により、厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は80億14百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は14億25百万円(同49.5%増)となりました。

#### [情報・通信関連事業]

主要な製品・サービスは、モバイルデータ転送機器、デジタル機器及びコンテンツ配信サービスであります。

モバイルデータ転送機器につきましては、Cellebrite Mobile Synchronization Ltd.(イスラエル国)の業績が順調に推移しました。デジタル機器につきましては、価格競争の激化により、原価低減・品質向上を推進しました。また、コンテンツ配信サービスにつきましては、任天堂株式会社の家庭用ゲーム機“Wii”でコミックを楽しめる“Wii ウェア”向けデジタルコミック配信事業に参入し、第一弾として、漫画家・矢沢あいがキャラクターデザインを手掛けた「プリンセス・アイ物語」を、平成21年1月「Wiiショッピングチャンネル」より発売しました。

さらに、モバイルデータ転送機器事業の強化及びグローバル市場へのビジネス展開を図り、2008年11月に、ドイツ国バイエルン州にCellebrite Mobile Synchronization Ltd.の100%子会社としてCellebrite GmbH.を、2008年12月に、中国上海市に当社の100%子会社として躍陽信息技术(上海)有限公司を設立しました。この結果、売上高は43億44百万円(前年同期比29.0%増)、営業利益は1億58百万円(前年同期比512.3%増)となりました。

#### [樹脂成形事業]

主要な製品は、パチンコ遊技機関連の樹脂成形加工品であります。

樹脂成形加工品の販売は、更なる価格競争と原材料価格の高騰等により、売上高・営業利益ともに減少しました。

この結果、売上高は11億93百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は2億83百万円(同1.7%減)となりました。

#### [その他の事業]

主要な製品は、金型及び家庭用ゲーム機対応のパッケージゲームソフトであります。

当連結会計年度の売上高は1億60百万円(前年同期比17.1%減)、営業損失は11百万円(前年同期は36百万円の損失)となりました。

## ② 次期の見通し

今後の見通しとしましては、世界経済の減速、原材料価格・為替相場・株価の動向など、先行きは不透明な状況にあります。また、パチンコ市場は、ホール数の減少・金融環境の悪化による設備投資の抑制など、引続き厳しい環境で推移するものと思われまます。

当社グループとしましては、関連市場の動向を的確に捉え、ビジネスチャンスを見逃さず高付加価値な製品・サービスをいち早く市場に投入してまいります。

具体的には、当社グループが蓄積してきました技術・ノウハウを応用し事業領域の拡大を図り、得意とするネットワーク技術・通信コミュニケーション技術及びコンテンツの企画・開発力を活かしたネットワークコンシューマ事業を推進します。

ネットワークコンシューマ市場は、IT技術との相乗効果により今後も発展・成長が期待されており、M&Aをも視野に入れたグローバルな事業展開、戦略を検討してまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、連結売上高135億円(前年同期比1.6%減)、連結営業利益10億円(同7.0%減)、連結経常利益10億円(同7.6%減)、連結当期純利益6億80百万円(同33.9%増)を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

### ① 資産・負債及び純資産の状況

(百万円)

	資 産	負 債	純資産	自己資本比率
2009年3月期	14,528	4,942	9,585	65.4%
2008年3月期	14,627	5,440	9,187	62.8%
増 減	△ 99	△ 497	398	2.6ポイント

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度と比べ99百万円減少し145億28百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

流動資産は、11億66百万円増加し84億15百万円となりました。これは主に、現金及び預金が20億9百万円増加したことに対し、売上債権が8億29百万円、たな卸資産が2億29百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、12億65百万円減少し61億12百万円となりました。これは主に、投資有価証券が5億95百万円、のれんが4億79百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、4億97百万円減少し49億42百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

流動負債は、5億97百万円減少し42億69百万円となりました。これは主に、短期借入金が5億円、仕入債務が2億7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、99百万円増加し6億72百万円となりました。これは主に、リース債務が1億26百万円増加したことによるものであります。

純資産は、3億98百万円増加し95億85百万円(前年同期比4.3%増)となりました。これは主に、当期純利益が5億7百万円であったことによるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度に比べ2.6ポイント増加し65.4%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	4,329	1,614	△2,714
営業活動におけるキャッシュ・フロー	△ 243	2,856	3,100
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△3,185	△ 18	3,167
財務活動におけるキャッシュ・フロー	785	△ 695	△1,481
現金及び現金同等物に係る換算差額等	△ 71	△ 128	△ 57
現金及び現金同等物の期末残高	1,614	3,629	2,014

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により28億56百万円増加したことに対し、投資活動により18百万円、財務活動により6億95百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ20億14百万円増加し36億29百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

#### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、28億56百万円(前年同期は2億43百万円の使用)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益7億69百万円、のれん償却額が4億79百万円及び投資有価証券評価損が3億46百万円であったこと、売上債権の減少が4億77百万円であったことに対し、法人税の支払が2億33百万円であったこと等によるものであります。

#### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、18百万円(前年同期は31億85百万円の使用)となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出が2億78百万円、有形固定資産の取得による支出が1億65百万円であったことに対し、投資有価証券の売却による収入が4億14百万円であったことによるものであります。

#### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、6億95百万円(前年同期は7億85百万円の獲得)となりました。

これは主に、短期借入金の減少(純額)が5億円であったこと、配当金の支払が1億58百万円であったことによるものであります。

次期の見通しとしましては、キャッシュ・フローに重要な影響を与える資産の購入及び売却等の計画はありません。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
自己資本比率(%)	62.9	71.3	62.8	65.4
時価ベースの自己資本比率(%)	72.7	49.7	28.6	29.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.5	2.0	-	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	142.1	47.6	-	145.5

(注) 1. 上記の各指標は、次の算式で計算しています。

自己資本比率: 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー / 利払い

- いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。
- 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
- キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
- 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。なお、2008年3月期は、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

#### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務の健全性を維持しつつ、株主の皆様へ長期安定的な配当と業績に応じた増配等による利益還元を積極的に行うことを基本方針としております。この方針に基づき、当期の配当金につきましては、業況等を勘案し1株当たり15円を予定しております(中間配当制度を設けておりますが、現在実施しておりません)。また、次期の配当金につきましても、業績見通し等を勘案し、現状、1株当たり年間15円を予定しております。

なお内部留保につきましては、財務体質の強化を図り、新技術の研究・新製品の開発等将来の事業基盤強化に戦略的に投入し、中長期的な株主利益の拡大に努めます。また、フリーキャッシュ・フローにつきましては、既存事業の拡大や新規事業のための投資等に有効活用し、継続的な利益の増加を図り企業価値を高めてまいります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(サン電子株式会社)、子会社5社及び関連会社1社により構成されており、「パチンコ関連機器」、「情報サービス及び通信関連機器」、「樹脂成形品」の開発・製造・販売を主たる業務として事業活動を展開しております。

当連結会計年度において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

### [パチンコ関連事業]

主要な関係会社の異動はありません。

### [情報・通信関連事業]

2008年4月、グループ全体の経営資源の集中と経営の効率化を図り、当社の100%子会社である株式会社サンコミュニケーションズを吸収合併しました。また、モバイルデータ転送機器事業の強化及びグローバル市場へのビジネス展開を図り、2008年11月に、ドイツ国バイエルン州にCellebrite Mobile Synchronization Ltd. の100%子会社としてCellebrite GmbH. を、2008年12月に、中国上海市に当社の100%子会社として躍陽情報技術(上海)有限公司を設立しました。

### [樹脂成形事業]

主要な関係会社の異動はありません。

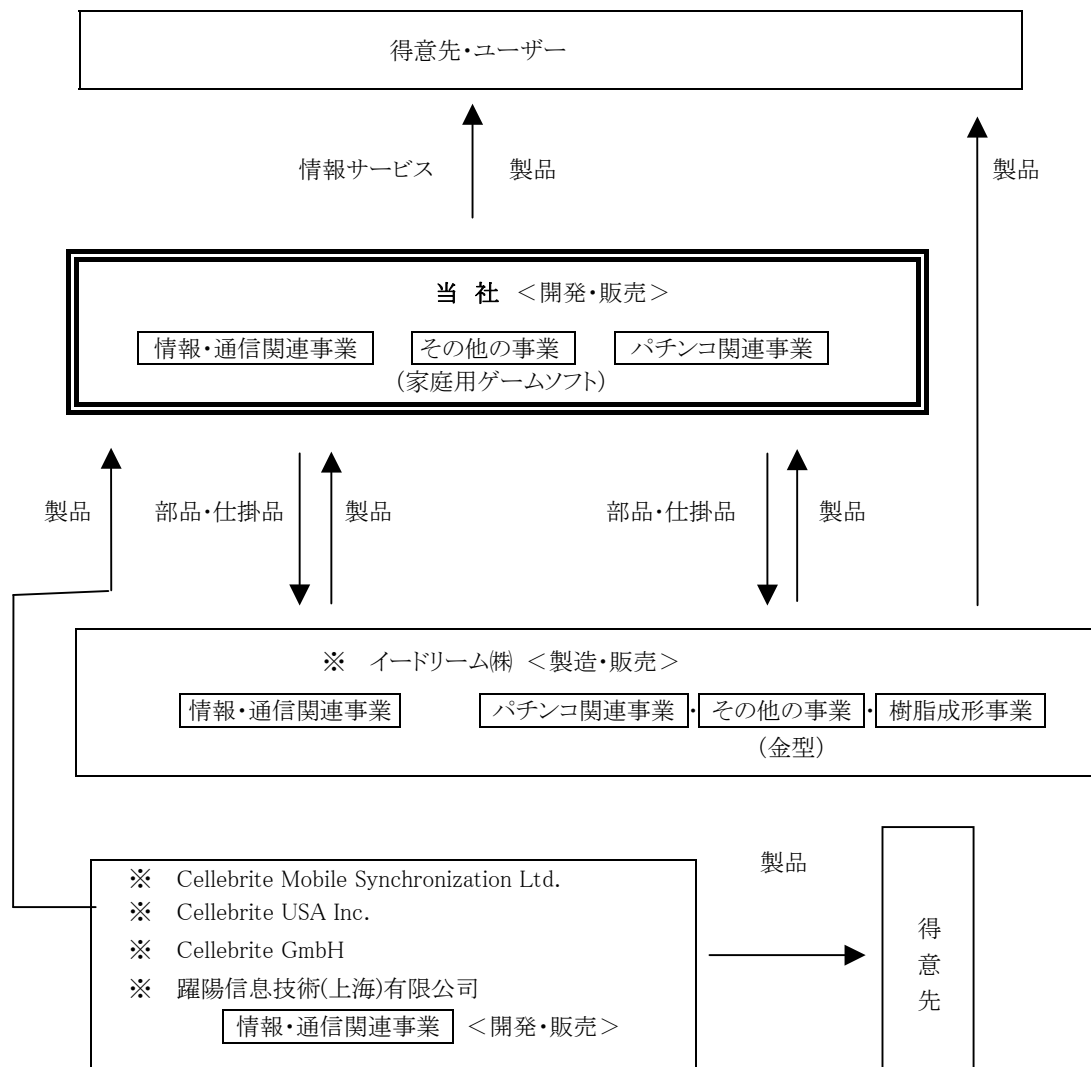
当社グループのうち主要な事業をおこなっているのは、当社及び子会社5社であり、当社グループの事業内容と子会社の当該事業に係る位置付けは、次のとおりであります。

なお、次の4部門は「連結財務諸表 注記」に掲げる事業の種類別セグメント情報の区分と同一であります。

事業区分	事業内容	主要な会社名
パチンコ関連事業	パチンコ遊技機の出玉・入賞口の開閉、玉の払出し、液晶表示、音声等を制御する基板の開発・製造・販売。 パチンコホールの遊技機データ、売上、景品等を管理するホール用コンピュータ及び複数ホールの情報を一括管理するデータ通信システム等、パチンコホール内情報化システムの開発・製造・販売。	当社 イーDream(株)
情報・通信関連事業	モバイルデータ転送機器、デジタル機器の開発・製造・販売。 コンテンツ配信サービスの企画・開発・販売。	当社 イーDream(株) Cellebrite Mobile Synchronization Ltd. Cellebrite USA Inc. Cellebrite GmbH. 躍陽情報技術(上海)有限公司
樹脂成形事業	射出成形によるパチンコ遊技機、家電製品関連の樹脂成形品の製造・販売。	イーDream(株)
その他の事業	金型の製造・販売。 家庭用パッケージゲームソフトの開発・販売。	イーDream(株) 当社

[事業の系統図]

以上に述べた事業区分と企業集団の概要を系統図によって示しますと、次のとおりであります。



(注)1 ※ 連結子会社

2 関連会社で持分法非適用会社である1社については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

[関係会社の状況]

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業の内容	議決権の 所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) イーDream(株) (注)3	愛知県名古屋	50,000	パチンコ関連事業 情報・通信関連事業 樹脂成形事業	100.0	パチンコ、通信関連機器の 製造・組付け・検査 役員の兼任 2名
Cellebrite Mobile Synchronization Ltd.	イスラエル国 ペタフティクバ	1,140 シケル	情報・通信関連事業	100.0	役員の兼任 1名
Cellebrite USA Inc. (注)2	米国 ニュージャージー州	34 千米ドル	情報・通信関連事業	100.0 (100.0)	役員の兼任 1名
Cellebrite GmbH. (注)2	ドイツ国 バイエルン州	20 千ユーロ	情報・通信関連事業	100.0 (100.0)	役員の兼任 1名
躍陽信息技术(上海) 有限公司	中国 上海市	20,000	情報・通信関連事業	100.0	役員の兼任 2名

(注) 1 「主要な事業の内容」欄には、事業の種類別セグメントの名称を記載しております。

2 議決権の所有割合の( )内は、間接所有割合で内数であります。

3 イーDream株式会社は、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く)の連結売上高に占める割合が 10%を超えておりますが、当該連結子会社は事業の種類別セグメント情報の「樹脂成形事業」の売上高に占める割合が 90%を超えているため、主要な損益情報の記載を省略しております。

### 3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略、(4) 会社の対処すべき課題

2008年3月期決算短信(2008年5月18日開示)により開示をおこなった内容から重要な変更がないため、開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

[http://www.sun-denshi.co.jp/b\\_ir/ir\\_dowld.html](http://www.sun-denshi.co.jp/b_ir/ir_dowld.html)

(JASDAQ証券取引所ホームページ「JDS検索ページ」)

<http://jds.jasdaq.co.jp/tekij/>















































